

## 競 技 注 意 事 項

- 1 この大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により審判する。  
競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについては TR5.2 の適用を除外する。
- 2 この大会は、第74回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会の予選会とする。
  - (1) 各種目とも、男子4位(4名)・女子3位(3名)までが県大会の出場資格を獲得する。  
但し、競歩競技は1位(1名)のみとする。  
三段跳は、地区出場枠に入った者のうち、男子は11m50以上、女子は9m50以上の者とする。  
ハンマー投は、地区出場枠に関わらず、出場標準記録(下記)を設け最低12名(県下)とする。  
1年男子：23m00、2年男子：30m00、1年女子：20m00、2年女子：23m00
  - (2) 地区予選会の結果、出場資格を得た者を除いて、全県で各種目とも記録上位の者(男子8名・女子7名(競歩競技は男女各5名))を+αとして、出場資格を与える。+αには特別枠での県ユース出場者は含まれない。+αは7月25日(月)の常任委員会で決定し連絡する。
- 3 招集について
  - (1) 招集場は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
  - (2) 種目別の招集開始時刻および招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
  - (3) 招集の手順
    - ① 出場選手は、招集場に掲示した実施種目の一覧表を確認し、記載事項に誤りがあれば競技者係にその旨を伝える。  
招集開始時刻までに招集場で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、ナンバーカードとスパイクのチェックを受け、トラック競技(リレーを除く)のうち、800mまでの決勝種目では別アスリートビブスを、1500m以上の種目では別アスリートビブスと別腰ナンバーを受け取ること。
    - ② 点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する者は、必ず事前(第1種目の招集完了時刻まで)に招集場で競技者係から多種目同時届の用紙を受取り、必要事項を記入のうえ提出し、許可を得ること。その際、招集に来ることができない種目の点呼(アスリートビブス、腰ナンバー、スパイクシューズ等の点検)を受けておくこと。
    - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場の意志がないものとして処理する。
- 4 練習については、補助競技場が付設されていないので、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。但し、投てき練習は一切認めない。
- 5 3000mSCの予選は競技場施設の関係で、障害物を2台設置した非公認レースで選手を選考する。
- 6 スターティングブロックを含め、用具については競技場備え付けのものを使用する。  
但し、ハンマー・やりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとし、その用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- 7 レーン順と試技順は、プログラムの各自のナンバーの前に記載の番号順とする。
- 8 決勝の組合せは、すべて番組編成員が公平に抽選し、招集場に掲示する。
- 9 リレーのオーダーは、招集場で競技者係から用紙を受取り、オーダー他必要事項を正しく記入し、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- 10 バーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	男子	練習(1m20)	試技 1m25 ~ (以降 1m75 までは 5cm きざみ)
			1m78・1m81 ~ (以降 3cm きざみ)
	女子	練習(1m00)	試技 1m05 ~ (以降 1m45 までは 5cm きざみ)
			1m48・1m51 ~ (以降 3cm きざみ)

棒高跳 男子、女子ともに 試技 2m00 ~ (以降 10cm きざみ)

順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- 11 競技場で使用するスパイクピンの長さは9mm以下の全天候型ピンを使用すること。但し、やり投と走高跳は12mm以下とする。先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する。